

大ホールに関する意見

【音響】

意見の概要

- ・新しく市民会館を建てるなら、ホールごとに演劇ホールや音楽ホール等機能を特化する、あるいは響きが豊かな音楽系に特化したホールを建てる検討をすべき。
 - ・市民会館を作るのであり、ただのホールを作るのではない。市民の通常の使用や、成人式や合同音楽祭なども含めて考えるべき。
-
- ・複数のホールを備えた市民会館という考え方で行けば、ホールごとに演劇ホールや音楽ホール等機能を特化して整備を考えていく時期に来ているのではないか。
 - ・残響時間が長い音楽ホールは、太鼓や吹奏楽には使いづらい。
 - ・残響音があるホールとないホールがあれば、芝居やライブなどの公演の場合、残響音がないホールを使い、スピーカーで音作りができる。目的が違うことを整理してあたらしくホールを作るべき。
 - ・維新ホールやYCAMというのは響きの少ないホールなので、響きが邪魔なイベントはそっちに行く選択肢がある。新しく市民会館を建てるなら、響きが豊かな音楽系に特化したホールを建てられるチャンスかと思う。多目的で何にでも使えると考えるよりも。
 - ・音響は聴く人によって千差万別。生の音とスピーカーを通した音で良い悪いは違う。維新ホールでのイベントの際に、今日は固い音だなと思っていたら客から良い音だったと言われた。公演会の際にも指折りの良い音と言われたこともあり、舞台に立つ人と客席とで音も違う。
 - ・アスピラートにしても松江のプラバホールにしてもクラシック音楽の演奏に適したホールであるが、そっちの方によっていくのかという感じ。
 - ・山口市で市民会館を作ろうという話であって、ただのホールを作ろうと言っているわけではない。市民が通常使う、成人式や合同音楽会なども含めてだろうと思う。良い音響を求めて良い音響のホールに行くのは自己満足の世界で、音楽の嗜好や時代によるものだと思う。演奏者がホールを選べば良いと思うので、損失ではないと思う。
 - ・コンクールも同じ会場で競うことであるのでそこで競えばいい。音響が悪いと酷評をされる必要はない。
 - ・演者が素晴らしければ、会場はどこでも音は良い。自分たちが気持ち良く弾くことで演奏が良くなるといわれる方は多い。

- ・ ランニングコスト的には、音響ホールは、明かりは明・暗だけなので出来上がったからランニングコストがかからない。贅沢な部材を使う傾向が高いから高くなるが、音だけにこだわって作ればそんなにお金はかからないはず。オペラをやろうとすると難しいが。そういうところをコミットしてホールを作れば、問題にならないし、それが売りになるのではないか。
- ・ 音響の面で、市民会館で吹奏楽をやりにくい理由として、客席に届く音とステージ上で演者が効く音が乖離していることが挙げられる。ステージ上では隣の音も聞こえないくらいなのに、客席には聞こえているとか。N響レベルのオーケストラが来ればそれなりに鳴らす。アマチュアが使うとどうなるかという。練習で使うならあまり響きすぎるのは良くない。ベストなのは客席とステージ上が同じ響きで聞こえること。
- ・ 音響は部材というよりは形状。専門業者は音響の設計やシミュレーションをするので、こういう音が届けられるのではないかということが調べられる。
- ・ 音響は突き詰めていっても、全てを満足させる完璧なものはない。
- ・ 市民会館のような劇場の形とシューボックス形で比較すると、シューボックス形の方が音を作りやすい。上や壁に板をつけて音作りをするので設計がしやすい。

【オーケストラピット】

意見の概要

絶対に必要という意見ではなく、まず再整備後の市民会館に必要かどうかを検討し、設置する場合も足音が響くなど現在の課題を解消して使用時に悪影響が出ない設計とするべき。

- ・ オーケストラピットは市民会館開館50周年事業などで使ったが、本来のオーケストラピットとして使われたことは、回数としては少ない。
- ・ 観客席の座席、床を撤去して使うが、狭いし、座席がすごく重い。
- ・ 周南の文化会館は、奈落に椅子だけ収納して、椅子がない状態で上がってくるので舞台上で使える。奈落に椅子をもっていけばオーケストラピットになるという作りが全国的に活用されている。
- ・ 山口市民会館では人力で床を外して、座組も全部外すことになる。また、外した座席を置く場所がないのが1番大きな課題。

- ・ 開設した1971年の段階では奈落に沈める発想はまだなかったのではないかな。その後80年代にかけてどんどん進歩していったのでは。
- ・ 山口市民会館のオーケストラピットは1列目から3列目だが、周南市文化会館は5列目までになっているから、その分広い。
- ・ 新しい市民会館にオーケストラピットが必要かどうかを考える必要がある。
- ・ オーケストラピットを作るにしても、今のように客席として使うときに足音が大きくなならないように改善したほうがよい（下が空洞であるため、上を歩くと足音が響いてしまう）。

【動線】

意見の概要

展示ホールや小ホールをリハーサルで使う時もあり、観客の動線と出演者の動線の切り分けなど、動線の配置について検討すべき。

- ・ 展示ホールと小ホールをリハーサル会場として使う時、大ホールのもぎりをする場所が問題になる。一般のお客さんの動線と、リハーサルに向かう団体の動線が、大ホールの出入口で交差する。シンフォニア岩国は、観客の動線と出演者の動線は完全に分けられている。動線をうまく配置することが重要であり、改修や建替えのときに工夫すべき。

【収容人数】

意見の概要

- ・ 2,000人収容可能な維新ホールがあるので、1,200人規模にしてはどうか。
- ・ 採算ベースを考えると現状の1,500席程度が望ましいのではないかな。
- ・ 収容人数の拡大ではなく楽屋等の充実などにより市民会館の魅力を高めるべき。

- ・ 小田原の三の丸ホールは、もともと市民会館だったものを最近改装して、いかにもクラシックに向いているようなホールになった。収容人数は1,100人。1,200人では採算がとれないという意見も出てくると思うが、維新ホールは

2, 000人収容可能であり、それぐらい必要であれば維新ホールを使ってもらい、市民会館は1, 200人ぐらいに対応できるようにしてはどうか。しっかりした楽屋があって、胸を張って新しい市民会館だと言えるようなものができれば良い。

- ・ 採算ベースを考えると現状の1, 500席程度が望ましいのではないか。

【舞台・楽屋・搬入口】

意見の概要

舞台や楽屋、搬入口が狭く、きちんと整備をするべき。

- ・ 使う側からすれば、広い舞台とリハーサル室、楽屋がきちんと整備されていることが重要。照明や音響もハイテク化しており、舞台スタッフの作業が簡略化できるような機器が導入できれば、リハーサル時間も短縮でき、借りる時間も短くなる。

【その他の意見】

- ・ 岡山ではダンスインキュベーションといって、演劇とダンスを混合したようなものを、若い世代の方を20人くらい集めて育てるということをやっている。文化を育てる意味合いを含めたホールという視点を聞いた。
- ・ 熊本県立劇場は、コンサートホールと演劇ホールを併設しているが、20年前くらいから目的を分けて大ホールと小ホールを併設するという流れができてい。また、YCAMが近いかもしれないが、ホールが文化を創っていくという位置づけで、共創型ホールが割と長く市民に受け入れられやすいのかと思う。
- ・ 長久手のホールを視察に行ったことがあるが、立ち上げ時はこういった審議会を1年単位でメンバーを変えて3年かけて実施し、市民との対話を密にして作っていったとのこと。
- ・ ホールが人を育てるという話があったが、どんな人・文化がそこに育つかということだと思うので、どんなモノを作るかということに重きを置くのが良いと思う。
- ・ プラバホールの改修も大変だったと聞いているが、準備に5年かかったとのこと。急がずに考えて作ると納得ができると思う。

小ホールに関する意見

【ホール形状】

意見の概要

平土間を望む意見と固定客席を望む意見の両方があるが、客席とステージのあり方も含め、まずは小ホールのメイン機能を検討すべき。

- ・ 今の小ホールは平土間でライブハウスのいいかと思う。控室も小さく少ないので不便な点はあるが、あり方は悪くないと思う。
- ・ 改修でいくと平土間でないと難しいのではないか。
- ・ 平土間ではなく固定客席が設置されていると、リハーサル室として使えない。
- ・ 現在の小ホールは意外と使い勝手が良い。若い世代にも意見を聞いてみたい。机を片付けるのが手間だが、今の状態で良いと思う。ロールバックで出てくると他のスペースをとることになる。
- ・ 椅子を並べるのは大変。それから、前が見えない。客席があると良いと思う。
- ・ 小ホールに何を求めるか。客席を配置するのであれば、今のステージのサイズでは演者が狭いので、客席の人数に耐えられない。
- ・ 今のまま使うのなら、ステージを作るのではなく、全面フラットにしてステージは仮設とするのが良いのではないか。
- ・ 小ホール、中ホールと呼ばれるホールは天井が低いことが多い。スクエアにしておいて、奥だけは天井を高くして、普段は平土間で良いが、ステージを使う時だけは、そこそこのステージがとれると良い。
- ・ 現状は照明をつけるところが天井に無いので、顔にあたる照明をつけることが難しい。クリエイティブ・スペース赤れんがでは、降ろして吊るせるのでセッティングのしやすさがある。
- ・ ロールバックの客席は足音がうるさい。接合部分がギシギシいうので。音楽物には難しいかなと思う。
- ・ ロールバックは、しまうときに2～3mくらいスペースが必要になる。壁は無くなるので倉庫は作れない。高さが無いと難しい。そういう意味でいえば床が迫りになっていて、段々になっていけば椅子をおいても客にかぶらない。ブロックごとの迫りにすれば。

展示ホールに関する意見

【可動壁】

意見の概要

可動壁が重く動かすのが大変という、現在の展示における施設の課題を踏まえ、利用者が利用しやすくなるよう検討をするべき。

- ・ 利用頻度は高いが、重くて動かすのが大変。レールで吊るされているため可動範囲が限られており、どうしてもガラス壁と可動壁との間にデッドスペースが出来てしまうが、吊る構造上しようがない。
- ・ 可動壁をどう使うかはある程度パターンがあるので、利用者にも設置パターンを示してあげると良い。
- ・ 可動壁は天井の高さにより重さが変わってくる。展示ホールは天井が高いので可動壁一枚が重くなっている。可動壁の幅でも重さは変わるが、幅を小さくすると壁と壁の間のつなぎ目が増えるなど展示に影響してくる。絵画を吊るせる壁の強度を確保するためにはあの厚さ、重さが必要になる。
- ・ プロの方に依頼しないと、作品を吊るしたりライトを設置したりということは難しい。改修等をするときは、だれでもパネルを移動できることを前提に検討してはどうか。
- ・ 天井を低くすることで可動壁を小さくするという考えもあるが、書道などの作品展示を考慮すると4メートルくらいの天井高は必要になる。

【動線】

意見の概要

展示期間中に、大ホール等の鑑賞者が北側駐車場の展示ホール入口から入って展示ホールを通り抜ける状況があり、現在の動線は好ましくない。

- ・ 展示ホール側に駐車場があるので、大ホールや小ホールの客が中国電力側まで回らずに、展示ホールを抜けて入ってくる動線になっている。展示ホールに入り、作品を見ずに通過する状況が見受けられるので、展示ホールでの展示の際は好ましいことではない。

【搬出入口】

意見の概要

小ホール側からの搬出入は大変であり、展示ホールに搬出入口は必要である。

- ・ 駐車場からの客の動線は別として、展示ホールに搬出入口は必要。小ホール側からの搬出入は大変。

【用途】

意見の概要

展示ホール単独での利用のみではなく、大ホールの付随施設としても利用できるよう機能を検討してはどうか。

- ・ 大ホールを使用する方のサブスペースのような用途としても使い勝手の良い施設を考えてはどうか。リハーサル会場や荷物置き場など大ホールに付随した機能が展示ホールにあったほうが良いのであれば検討してはどうか。

【必要性と規模】

意見の概要

- ・ 市民が手ごろな期間で、手ごろな経費で展示発表できる場を確保し、自身の活動の励みにつながるホールとするため、ニーズも把握したうえで検討すべき。
- ・ 今くらいのホールが3つくらいあれば、企画の規模で2つ、3つ使うという使い方や、一部を大ホールの控室として使うことも可能となるなど、展示ホールの利便性が高まるのではないか。

- ・ 昔は大ホール前の通路で展示をしていたが、ガラス張りということもあり環境はよくなかった。展示できる場所があるということは大変大事なこと。

- ・ 山口市には市立の美術館がないので、今、美術展示室として使われているニーズがどのくらいあるのかを把握し、今後どうしていくのかということもあわせて考えたほうが良い。
- ・ 今くらいのホールが3つくらいあって、規模によりこのイベントでは2つ使う、3つ使うという使い方が出来たらよいのでは。そうすれば、大ホールの付属施設として展示ホールを使うとしても、全部が使えないということは減るのではないか。
- ・ あまり立派にすると多くの鑑賞者を呼び込める企画での利用が長期間入るなどして、気軽に2、3日間展示をしたい市民の利用が制限されてしまうという弊害も起こりうる。
- ・ 市民会館は市民の方が手ごろな期間で、手ごろな経費で展示発表する場を確保するという考え方でいてほしい。美術館で行うレベルの展覧会とかはあまり想定せず、市民が展示をして次の活動への励みとする、それを市民が見に来て作家と市民との交流が生まれるような場となるよう考えるのが良い。
- ・ 現在の展示ホールは「展示もできるホール」といったものであり、利用者が工夫しながら使っているが、本来はその工夫をしなくて使えるものがあれば良い。

その他スペース、屋外等に関する意見

【会議室及びリハーサル室】

意見の概要

会議室の有効活用を図る上で、リハーサル室や楽屋としても使える、あるいはホールを借りなくても会議室のみ借りられるなど、柔軟な利用が可能な整備を検討してはどうか。また1階と2階両方に部屋を設けるなど複数個所が必要。

- ・ 会議室確保の観点から言えば、長机と椅子さえあればリハーサル室を会議室としても利用できる。
- ・ しかしながら、今の市民会館では、大ホールを通って行かないとリハーサル室が使いづらい。大ホールとは切り離して、バックヤードを個別に貸し出せるような工夫があれば良い。
- ・ 改修であれば、男女共同参画センターを廃止して、あそこを全面的に会議室にしたほうが良いのではないか。
- ・ 会議室は、大ホールに併設してあれば楽屋にも利用できる。楽屋であれば大ホールに付属しての貸し出しになってしまうが、会議室であればそうではないので利用率が上がる。
- ・ 考え方を逆にして、リハーサル室や控室を会議室として貸し出すのではなく、普段会議室として使っていて、全館貸し出しの際はそこを控室として使用できるような構造にすべき。
- ・ 位置については、今の市民会館で言えば展示ホールや小ホールのあたりに貸し会議室が並んでいれば、大ホールで大きなイベントをする際にはそこも全て押さえて控室として使える。
- ・ ステージの後ろにあると楽屋にしか使えないが、ステージとその客の動線の外に並んでいたら、ステージ後ろは基本楽屋に、横は会議室にも楽屋にも使える。
- ・ 会議室は1階と2階にもあってよい。基本的には会議室で貸し出しをして、2階はフラットにできるようにしてリハーサル室としても使うとか、建替えであれば色々なアイデアが浮かぶ。
- ・ KDDI 維新ホールを見ていてもわかるように、会議室の利用率は結構高い。何カ月も前に押さえることができ、お金を払って借りられる会議室は市内に少ないのではないか。ここでも利用はあるのではないかと思う。

- ・ 会議室で使うのであれば、その棟にトイレ等がないといけない。今の舞台裏のスペースは単独でトイレがないので、貸し出すことが難しい。建替えるのであれば、その目的に合った付随するものも一緒に棟に入れて考えていくべき。

【練習室】

- ・ 現在の市民会館の練習室は広さが不足しており、今の倍はないと人数が入れない。

【エントランスホール周辺スペース】

意見の概要

現在ストリートピアノも設置している中で常時開放とするのか、エントランスホールの今後の在り方を検討するべき。

- ・ 他市の会館ではエントランスのスペースは常時開放しているところがある。市民会館はオープンにするのかクローズにしてしまうのか。ストリートピアノがあることもエントランスホールのあり方を考える新たな要因にもなっている。
- ・ エントランスは本来2階であったものを1階に変えているので、そもそも当初と目的が違う場所にエントランス機能を持ってきている部分がある。

【中庭】

意見の概要

催事の間として、また施設のシンボルとしての整備を検討してはどうか。

- ・ 今の中庭の位置づけは中途半端でもったいない。デッドスペースに近い形になっている。
- ・ もともとは非常時の避難場所として確保された空間でイベントスペースとしての利用を認めていなかった。今は、全館使うとか、ホールを使っている他の人たちの了解が取れたら利用できるようにしている。

- ・ 管理がうまくいくのであれば色々な催事があって良いのではないか。
- ・ 山口市は全県的に見ても文化に恵まれた市。山口市らしい建物であってほしい。そうした中で、中庭があるホールはそれほどない。極端かもしれないが、山口市ではあそこに雪舟庭みたいなものやスペインの山口公園のようなものがあったもよい。市外の人が、山口市らしい市民会館に行ってきたといえるくらいの建物が出来たらというのが望み。
- ・ もし建替えであれば中庭が出来るかどうかはわからないが、施設の全体をうまく利用した演出を考える人もいるので、それを取り入れられる遊びの部分が多くあれば面白い施設になる。

【レストラン機能】

意見の概要

イベントの時しか人が集まらないのであればレストランを続けるのは難しく、人の流れを作ることが重要。キッチンカーの活用も一案ではないか。

- ・ 市民会館本体が休みでも駐車場などを開けられるようにならなければ、コンスタントに続けるレストランは難しい。スタッフや搬出入の車両で駐車が出来ないということにもならないよう、レストラン専用の駐車場も必要。
- ・ イベントの時だけレストランを開けるなどしないと、イベントの時にしか人が集まらないのでは、経営できない。会議室や練習室を貸し出せるようにして、普段から人の出入りがあるようにすれば、レストランの需要が出てくるかもしれない。
- ・ 単純にレストランとしてだけでなく、お弁当も出せるとか、一緒になってホールを盛り上げていこうくらいの機運がないと成り立たないと思う。
- ・ キッチンカーの組合を作って活動されているので、家賃もかからないし、そういうスペースを作っておくというのもありかもしれない。

施設全体に関する意見

【空調について】

意見の概要

- ・ 利用者とスタッフのお互いが気兼ねなく空調が使えるよう、施設使用料の形態を空調代込みの形態としてはどうか。
 - ・ ホールとは別に空調管理できるピアノ保管庫なども検討を要するのではないか。
-
- ・ 現在は空調代別の施設利用料となっている料金形態を、空調代込みの形態にしてはどうか。スタッフが作業に入る際の空調について、利用者とスタッフのお互いが気兼ねなく空調が使えるようになる。昨今の暑さで冷房を使わずにスタッフが作業するのは危険。
 - ・ 空調はピアノの状態の維持にも影響がある。ホール空調とは別に空調管理できるピアノの保管庫のあり方なども検討する必要があるのではないか。

【駐車場】

意見の概要

- ・ 現在の台数では不足しており、現在地での整備の場合は駐車場の確保が課題である。
-
- ・ 新本庁舎の立体駐車場には300から350台停めることができると想定されているが、足りない。今の2倍は必要。現在地での建て替えの場合のネックは駐車場。
 - ・ 中庭や事務所棟の配置によっては駐車場を少し確保できるかもしれない。
 - ・ 山口の地価を考えると、地下の駐車場を検討するよりは、ちょっと離れて広いところに駐車場を確保したほうが安いのではないか。

【ガラス張り構造】

意見の概要

展示物に直射日光が当たる現在の構造は良くないが、ガラス張り自体が悪いのではなく、外光をうまく遮断し活用しながら、魅力ある施設にするかが重要。

- ・ ホールで直射日光がステージまで届くのはどうかと思う。（大ホール）
- ・ 現在は展示の際は仕切りなどを活用して、外の光が入らないように使用している。（展示ホール）
- ・ 展示物に直射日光が当たる構造は良くない。総ガラス張りというのは展示についてはあまり感心しない部分がある。（展示ホール）
- ・ ガラス張りはエアコンのコストなどを考えると大変ではないか。（施設全体）
- ・ ガラス張りであることで施設に明かりががついていることが外からわかり、コロナ禍でも演奏会をやっているという安心感があった。閉鎖的な施設だと、文化の灯という感じがしない。ガラス張りには色々協議の余地があるのではないか。（施設全体）
- ・ 動線にガラスを使うのは何か催しをしていることが見えるという点では良いこと。ホールで外光をどう遮断していくかが重要。（施設全体）
- ・ 今は少なくなっているが、外光を照明として利用することを計画することはあって良いかと思う。（施設全体）

【バスの待機】

意見の概要

大規模イベント時の、出演団体のバスの待機場所や乗降場所に困っており、整備の必要性がある。

- ・ 大規模イベントが終わった後の出演団体を帰すのに、バスを回せる場所や待機させる場所がなくて困る。
- ・ 周南市文化会館の場合は、駐車場を完全に出演者用にしており、観客は入れない。一般の方には県の合同庁舎や美術館の駐車場を使ってもらっている。近隣の公共施設との連携がうまくできる立地だから大きいイベントでは使いやすい。

【大会誘致】

意見の概要

山口市には大会を誘致できる文化的なポテンシャルがある一方で、駐車場不足などの理由から現状の市民会館では誘致は難しく、県央部という意味でも大会を誘致できる施設となってほしい。

- ・ 県央部という意味でも大会が誘致できる施設となって欲しい。県内どこからでも集まりやすく、県民のための、県庁所在地にあるホールということも大事ではないか。
- ・ 今は駐車場がないので大会誘致が出来ない。山口は文化団体が多く、出演者も手伝いも多いので、ホールさえ使いやすければということはよく言われる。
- ・ 中四国規模の大会を市民会館で実施した際、9県から1,500人が集まったが、それだけのキャパシティがある会場はここしかなく、大変助かった。湯田温泉を使ってほしいという思いがあり、山口市市民会館は、学会や地区大会、全国大会をする際に、山口県で他の市町ではなく、山口市でやりたいと思えるような施設であってほしいと思う。技術的な面からの話もあるが、全国から人を呼んでイベントを実施することも頭の片隅に置いて頂きたい。
- ・ 湯田温泉のように市街地の続きに温泉街があるのは珍しいらしい。イベントを誘致するには、日帰りだと維新ホールの方が便利だが、泊りのイベントは山口のほうが地理的な要件が有利だと思う。全国的に通用する市民会館を作るというのは大変だが、ある程度の受け皿になるものを作ると団体としても誘致しやすいのではないか。ただ、今の市民会館は不便すぎるので、全国大会は呼べないと思う。

【他施設との連携】

意見の概要

市民会館だけで捉えるのではなく、市の他施設と連携した効率的な施設利用について検討するべき。

- ・ 市民会館だけでなく、市のほかの公共の施設とタイアップできたら、大きな大会の開催も可能かと思う。

- ・ 白石公民館が移転する当時、移転後の部屋を市民会館の控室やリハーサル室などに使えば、満足とまではいかないまでも、部屋不足が少しは解消されるかと思っていたが、男女共同参画センターが入り実現しなかった。
- ・ 山口市民会館と、隣接している男女共同参画センターとでは、動線に屋根がないところがあり雨が降ったときに利用しづらい。改修するにしても別の場所に変わるにしても、単体で考えるのではなく、隣接というのは難しいかもしれないが周囲の市の他施設と連携して、駐車場、控室、リハーサル室の問題を考えるといい。

【周辺の人の流れ】

意見の概要

現在地に整備される場合、新本庁舎整備による人の流れ等を考慮して整備を行う必要がある。市民会館だけでなくエリア全体が活性化することを期待する。

- ・ 今の事務所棟がなく中庭がオープンなら、イベントをやっても見えるし、レストランにも人が入るのでは。あの建物で目隠しになっていてもったいない。
- ・ 市役所の新本庁舎が出来て広場もできれば、人の流れや集まりも違ってくるのではないか。
- ・ 市役所の新本庁舎が出来て、市役所の近隣に飲食店が出来ると良い。現在地に市民会館が再整備されると想定した場合、皆がいつも何かで行けるように、エリア全体が活性化すると嬉しい。
- ・ 新本庁舎整備を考えた場合、動線的に今の市民会館は向きが逆。新本庁舎が整備されるのに合わせて、市民会館の向きが今と逆になるのは人の動きとして良いこと。

【施設の雰囲気】

意見の概要

鑑賞に来た時に、少し日常から離れた空間で時間を過ごすことができたという感じられる雰囲気のある施設としてほしい。

- ・ 外観も含めて、これからの50年を見据えた次世代につながる施設であってほしい。
- ・ 周南市文化会館のホワイエはとても豪華でおしゃれに感じる。カーペットが貼ってあるだけですごく雰囲気が違う。贅沢というほどではなくても、少し日常から離れた空間に来られたと感じられる施設が欲しい。

【再整備手法（建替え、改修）】

意見の概要

- ・ 改修では根本的な課題の解消が実現できない部分が多いことから建替が望ましいのではないかと。
- ・ まずは改修を検討し、それが難しければ建替の検討に移行してはどうか。

- ・ 岩国市民文化会館、防府市公会堂、下関市民会館は改修されたが、いずれも搬入口が従前とほとんど変わってない。改修では、搬入口など施設の根本的な見直しは難しいのだろうか。
- ・ 静岡のホール建替えの事例では、建替え期間中の2、3年間は発表をする場がなく、市民が困ったと話を聞いた。山口市はYCAMや維新ホールもあるので、連携して使用料を安くして使わせてもらうなど、検討してほしい。
- ・ 松江のプラバホールは、使えない間に他の施設を手当てするというをやっているようだった。
- ・ 近くに新しい市民会館を建てて、建ったら移転するのが一番楽だとは思う。
- ・ お金を抑えて改修しても良くならないのであれば、新しく作った方が良いのではないかとこの気持ちもある。
- ・ 50年以上経過し、空調や排水など悪いところはたくさんある。ここで出ている課題は全て解消しなければならない。改修では追い付かず、建替えしかないと思う。

- ・ これだけのものができていると、改修では壁を変えることができない。屋根を付けたたり、テントを建てたりすることはできるが、新たに躯体をつけるというのは無理だと考えると、今の六角形の構造自体をシューボックス形に45°回してやり替えるということは不可能。ドイツなどのように外の壁だけは生かして中は全て改装するという方法があれば可能だが、日本の建物の構造はそういうふうにはなっていない。動線についても、建替えであれば意見を反映していけば良い。改修で壁に穴をあけて通り道を作る、というのでは対応は難しいと思う。
- ・ まず改築の方向でどうにかならないのか、その試算をした上で、やっぱりこれでは無理となったときに、建替えの検討を進めてはどうか。

【再整備の位置】

意見の概要

- ・ 再整備の位置については、現在地が望ましいのではないか。
- ・ 建替なら文化施設が集積している新亀山公園ふれあい広場が望ましいのではないか。

- ・ 市民会館が移転するとなった時に、跡地が何になるかのほうが心配。いっそのこと、ここに建てた方が良いのかと思う。
- ・ 文化協会の意見では、場所はここという思いがある人が多かった。
- ・ 50年間ここでやってきたという思いが強い。だが、再整備後は次の時代の方が使うので、使う方々に場所を決めてもらって良いのだが、ここにあればいいなという思いはある。
- ・ 新亀山公園のふれあい広場は、パークロードや一の坂川とも近くなる。裏手にはクリエイティブ・スペース赤れんがもあり、文化的な位置としては良いのではないか。多少、商店街とも近いのではないか。
- ・ 新亀山公園沿いをそぞろ歩きして市民会館に来るとか、駐車場も界限にあり、車を遠くに停めても歩いて移動するのが苦ではない地区ではある。

【その他の意見】

- ・ 整備の検討の際には、少しゆとりを持ったスペースづくりで考えておけば、あとから何か要望が出た時の対応がしやすいのではないか。

老朽化への対応についての全体的な意見

- ・ 湯田温泉という宿泊拠点が近くにあるので、全国的な大会等の引き受けができる。それにより湯田温泉も潤うし、来られた方も満足するという考えも持つべき。
- ・ まず改築の方向でどうかならないのか、その試算をした上で、やっぱりこれでは無理となったときに、建替えの検討を進めてはどうか。よく足元を見て、若い人たちと対話をするということを一番大事にしてほしい。
- ・ 山口市にこんなものがあるというシンボリックなホールが出来れば良い。
- ・ 施設を改修すれば各ホールについてある程度の改善は望めると思うが、50年前に考えられた建物で、動線というのはいかんともしがたい。改修では実現できない部分が非常に大きいと思われるので新築が良いのではないか。
- ・ ダンスを習っている子どもたちにとって、市民会館で踊るということはステータスになる。この近郊で一番大きなホールで踊れるということが子どもたちにとってはすごく大きな自信になっている。一番大切なのは、市民に愛される、市民の行きやすい会場。あそこで演じることがうれしいと思う会場になっていくことが一番大切なことで、利用する方々の満足感につながる施設になるようお願いしたい。
- ・ 文化ホールがまちをつくるという言葉があるが、総合的な要素を持った施設が新しくできるのが良いのではないか。建替えと改修の両方を含めて検討してはどうか。
- ・ 個人的には建替えの一択かと感じている。無理をしてここまで既存の施設を使ってきた皆さんはすごいと思うが、希望に沿った形で新しいステップを踏んでいく節目に来ているのではないか。
- ・ 建替えにしても改修にしても修繕にしても、敷地内の動線だけでなく、まちづくりを含めた周辺施設との動線ということを考えて今後の計画を立てていただけたら良い。